

マジメな話も噂話も、事実無根の話も、いつもカラスポと共に！

カラスポ

烏丸スポーツ

京都CF
2008年8月1日
臨時増刊号
次回発行は未定です

この新聞は、パロディです。

祇園囃子の彼方に消えたの幻のヒト。

見返り京おんなの悪夢！

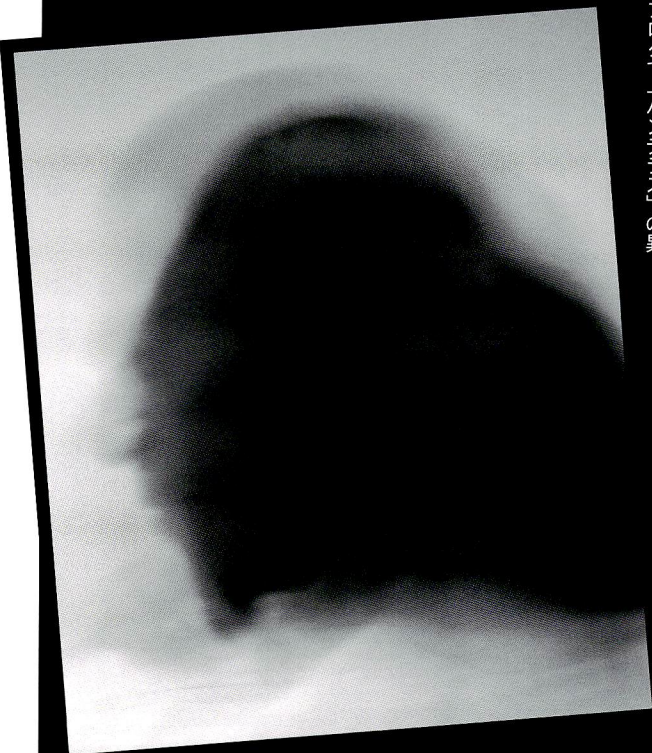
京おんなのイメージと言えば？ 読者諸氏それぞれにイメージはあると思うが、本誌は「見事に艶やかな髪を持つ人物がいる」という情報を入手した。そのヒトは西陣に生まれ、育ちも京都で出身。大学は立命館大学、肩を超える長さの黒髪の持ち主で、主に烏丸界隈、もしくは、時に木屋町に出没するという。本誌編集部に近い、また本誌と関わりの深いエリアである。何故に今まで、気づかず

にいたのか…。
そしてそのヒトはたいそうな酒豪らしく、何軒もの店に足を運び、盃を重ねては陽気に消えて行くという。これまた「夜酒」な本誌にぴったりである。
7月某日、本誌はそのヒトを「カラスポ小町」として認定すべく、青山も間近に迫った烏丸通にカメラマンを伴って捜索に向かった。既に祇園祭の交通規制が行われ、歩行者天国となった通に突

入し、人込みをかき分けしばし…。やおらカメラマンが走り出した！ どうやらそれらしい人影を見つけたようだ。本誌編集部もその姿をチラと視界に捉えた！ 意外と大柄なヒトのようだ。
なおもカメラマンは人ごみをかき分けて進んで行く。本誌編集部がおいで行かれる形だ。カメラマンを見失って数秒。「うーうーうーわあ〜〜〜〜！！」カメラマンの絹を裂くような悲鳴

が轟いた。振り向いたそのヒトは…!!
「あ？」。眼光鋭く振り向いたそのヒトは、京都一あつくるしい顔を持ち、彼が現れるところには南からの熱風が吹くという南米系京都人、某ブログで「バンデラス」の異

名を持つ男であった！
祇園囃子に淡く消えた、「カラスポ小町」。本誌編集部とカメラマンは、這々の体で逃げ出したことは言うまでもない…。



増刷出来！
京的女性生き方文庫
フイケズカ
これでアナタも京おんなになれる！
著・高辻宮玉子

月刊

健康京おんな
お腹スッキリ！美白は腸内から。
「アナタのその黒い腹が老化を早めている！」

野菜を売るわよ！

「大原女」
京おんなを描いた珠玉の物語
シリーズ第一作

花を売るわよ！

「白川女」
シリーズの人気を決定つけた
待望の二作目、重版出来！

魚も売ったわ！

「桂女」

落涙必至。
京おんなシリーズ、堂々の完結！